

広報 おおくら 11

おかえり、なりわい灯す きよらなる里

令和3年
No. 747

この場所でも、
これから。

● COVER ひ孫さんとの楽しいひと時

令和3年9月末時点の大蔵村の人口は3,045人。
そのうち、65歳以上の高齢者は1,215人。
これは人口の39.9%に相当し、2.5人に1人が高齢者です。

日本は人生100年時代と言われる時代に突入し、平成19年に生まれた子どもの半数は107歳よりも長く生きると海外の研究で推計されており、世界一の長寿社会を迎えようとしています。

厚生労働省が発表している平成27年市区町村別生命表によると、大蔵村の平均寿命は男性で80.1歳、女性で86.9歳。15年前と比べると、平均寿命が2歳以上延びています。今後も平均寿命は延び続けることが予想され、少子化・人口減少が進む中、高齢になってもすべての人が元気に活躍し続けられる社会をつくっていく必要があります。

「おじいちゃん、おばあちゃん、これからも元気でいてね」
これは家族の願いでもあり、地域の願いでもあります。

寿命を延ばすだけでなく、
元気に生活ができる期間「健康寿命」を延ばすことが大切です。
そのためには、医療と保健、介護、地域、人と人との
手を取り合うことが欠かせません。

誰もが自分らしく、いきいきとした生活を。
介護が必要となっても、
住み慣れた地域で暮らせるように。

ふれあいサロン、介護予防大会、訪問診療の取り組みから、
安心して老後を迎えられる村であるためには、
どうすればいいのか考えます。

年を重ねても、
この場所で住み続けるためには——
安心して老後を迎えられる村であるためには——

Special Feature 安心して老後を迎えられる村へ

この場所で、これからも。

ふれあいサロン「えんがわサロンの会」から

地域で集まる心地よさ

ふれあいサロン

みんなといえるから、
みんなでするから、楽しい。

高齢者が地域で集う
「ふれあいサロン」

「ふれあいサロン」は高齢者が集い、ふれあえる場所として全国の各地域で開催されています。身体を動かす体操やレクリエーション、物づくりなど、それぞれのサロンで、自分たちがやってみたいことを考え、活動しています。大蔵村では13のふれあいサロンがあり、それぞれが特色のある活動で楽しんでいます。

「えんがわサロンの会」

10月6日、肘折地区の月に一度の「えんがわサロン」の



「花の山形！しゃんしゃん体操」

「と、みなさんの顔もますますにこやかな表情になりました。山形県と大学が協力して考案したこの体操には、運動器の障がいを防ぐ動きが取り入れられています。えんがわサロンの会ではいつもこのような運動を取り入れたプログラムが行われています。」

参加したくなるプログラム

えんがわサロンの会のプログラムはさまざまで、ペタンクやフラワーアレンジメント、月山和紙のキャンドルスタン、ドづくり、散策など、多岐にわたります。開催日やプログラムによって、地域の子ども



えんがわサロンの会での「レジン（樹脂）のアクセサリーづくり」。樹脂を型に入れて、キーホルダーやアクセサリーを作りました。色や装飾を選ぶ間もにぎやかな雰囲気です。4人のスタッフも参加者と一緒にキラキラのキーホルダーづくりにチャレンジしました。



春の花植えは子どもたちも一緒に

笑いがたえないサロンの時間

「私自身がサロンの活動が楽しくて。みんなで何かするって楽しいですよ」と話すのは「えんがわサロンの会」の代表を務める早坂絵梨奈さん（肘折）。このサロンでは、物づくりをしているときも、体を動かしているときも、参加者とスタッフが和気あいあいと活動をしています。そして、いつでもどこからか、笑い声が聞こえてきます。早坂さんは「サロンに来る人はよく笑うんです。サロンがあることで、外に出かけるきっかけになりますし、ここでは普段は会わない人と話したり、一

困ったときに頼れる人

緒に活動したりするので、気分転換の場所になっていると思います」。会が終わると参加者は「おもしろかったな、またな」と声をかけ合い、自宅に帰っていきます。「楽しんででもらえるのが一番ですね」と早坂さんは笑顔で話します。

参加者が来ていないと「あれ、どげしたんべ？」と参加者とスタッフみんなが気軽に連絡を取り合える間柄です。こうした関係性がお互いを見守ることにつながった出来事がありました。

豪雨で河川が増水し、のちに避難指示が発令された令和2年7月。「Aさん、一人暮らしだけど、大丈夫だべが？」「Bさん、どうしたべ？」早坂さんはいつもサロンで顔を合わせている方々の顔が自然と浮かんできたと言います。

そして、サロンのスタッフがその方々の自宅に行き、声をかけ、避難状況を確認することができました。早坂さんは「サロンや日常のつながりが役に立ったと実感した出来事だった」と言い、「顔も知っていれば、名前も知っている。そういう関係性が構築できたのも、サロンのおかげ」だと言います。「安心して頼ってもらえるし、安心して頼れる」。日々の活動が、いざというときも支え合えることにつながっています。

地域への恩返し気持ちで

「肘折のみなさんには自分が何も知らないときからお世話になっていきます。みなさんに受け入れてもらえたので、自分も恩返しというか、地域の役に立ちたい」と早坂さん。サロンが地域の人々とのつながりを強め、世代を越えた地域の輪になっています。



えんがわサロンの会
代表 早坂 絵梨奈さん(肘折)

新庄市から肘折に嫁ぎ、家族とともにそば屋を切り盛りしている。肘折地区の「えんがわサロンの会」の立ち上げ時からスタッフとして携わり、今年から同サロンの代表を務めている。

頼れる安心、
頼ってもらえる安心感



高山清子さん(肘折)

interview みんなと会えるサロンを楽しみにしています

毎月のサロンが楽しみで、案内チラシが届いたら、予定表にサロンの予定を書き入れています。ここ(サロン)に来るとみんなと会えるし、自然と笑顔が増えます。物を作るのも、体を動かすのも楽し

くて、サロンは楽しみの一つになっています。先に立って運営してくれるスタッフのみなさんは大変だと思いますが、いつもおもしろく過ごさせてくれて、「ありがとう」の気持ちです。



「冬季！ピンピンピック」野菜出荷リレー



介護予防大会 冬季！ピンピンピック

理学療法士と作業療法士、言語聴覚士が考案した、6つの介護予防競技を競う大会。「おおくらくと大蔵トマトで陣取り合戦」「ふーふードキドキレース」など、オリジナリティ溢れる競技を行った。今年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、各地区で競技を実施して、総合優勝を決定する。



多いと思います。でも、介護予防は人生の最後まで自己決定して、自由に楽しく生きるために必要な、身体と心の機能を保つ『未来のための運動』です。介護予防を頑張れば、人生も良くなりますし、家族もうれしい。最後の最後まで楽しかったと思える人生を過

ごすには介護予防がとても大切なんです」と多田さんは力を込めます。そして、「ピンピンピック成功の秘訣は楽しんでもらうこと。参加者におもしろいと思ってもらえることが、知らず知らずのうちに介護予防につながる原動力になっている」と話します。

サロンのみんなが大集合！おもしろいからやってみたくなる！

介護予防大会 ピンピンピック

介護予防は未来のために——。おじいちゃん、おばあちゃんが元気にいてくれば、おじいちゃん、おばあちゃんの人生もより良くなる、家族もうれしい。介護予防で最後の最後まで楽しく過ごしてもらうには——。村の介護予防大会「冬季！ピンピンピック」の競技の一つ、野菜出荷リレーを考案した認定理学療法士の多田雄一さんにお話を聞きました。



最上町立最上病院
山形県理学療法士会

認定理学療法士（運動器）
多田 雄一さん

認定理学療法士として、大蔵村のケア会議のアドバイザーや生活支援体制整備委員の構成員を務める。「冬季！ピンピンピック」では、運動機能を高める野菜出荷リレーを考案。

自己決定のできる人生を歩んでほしい ワイワイ楽しく「ピンピンピック」

介護予防大会 冬季！ピンピンピック

村の特産物がたくさん登場 「野菜出荷リレー」

令和2年2月に大蔵村で初開催された「冬季！ピンピンピック」。村内のふれあいサロンから120名以上の高齢者が参加した、村最大規模の介護予防大会です。口腔機能や身体機能、認知機能を取り入れた6つの競技をふれあいサロン対抗で競い合いました。この大会のために、各サロンが競技の練習をコツコツと重ねてきました。大会当日、どのサロンも優勝を目指し競技に挑み、熱の入った介護予防大会になりました。

「福祉を担当する村職員に『介護予防大会をしたいから力を貸してほしい』と声をかけられ、その気持ちに応えなかった」と話すのは、認定理学療法士の多田雄一さん。村生活支援体制整備委員として、ピンピンピックを一緒に作り上げたスタッフの一人です。リハビリのプロである理学療法士の多田さんが他のスタッフと一緒に考案した競技は「野菜出荷リレー」です。大蔵村で栽培されているトマトやネギなどを手や足を

使って順番に受け渡していき、タイムを競うという競技です。ミニトマトから大玉トマトというように、小さいものから大きいものへ、手から手、足から足、最後には身体全体を動かすものにステップアップしていきます。これらの動作には、物を目で認識すること、手と足をバラバラに動かすこと、体をねじることなど、日常では行わないような動作が凝縮されています。

人は20歳をピークに筋肉も内臓機能も低下していきます。これは誰もが同じです。介護予防で、身体や気持ちの老いを止めていくことで、生活機能が下がりにくくなり、介護の量を減らすことができます。「介護予防というと、ネガティブなイメージを持つ人が

標に向かって一緒に競技に取り組むことで、介護予防なのに、それっぽく見えない。みんな若々しかったですね」と多田さんはピンピンピックを振り返ります。

介護予防は未来のために



入賞したチームに贈呈されるトロフィーが用意され、総合優勝、各部門の3位まで表彰されました。大会会長賞のカップは最高齢の方に贈られました。

住み慣れた場所で暮らし続けるために

訪問診療

在宅で暮らす高齢者に
寄りそう「訪問診療」

訪問診療を始めたきっかけは
当時の保健師の声から

訪問診療が一般的ではなかった30年前、大蔵村ではすでに訪問診療が行われていました。訪問診療は平成3年に、大蔵村診療所の開設と同時に開始されました。

診療所の開設時から診療所の医師を務める荒川光昭医師は「診療所に来ることができない人はすべて訪問診療の対象です。寝たきりの人はもちろん、診療所まで行くことが難しいという人も利用することがあります」と話します。診療所では毎週月曜日と金曜日に自宅での診療を待つ患者の元へ診察に出かけます。また、緊急時には深夜でも患者の元に駆けつけて診察ができるような体制がとられています。

荒川医師は30年前をこう振り返ります。「診療所の医師になつてすぐに、当時の保健師さんたちに『寝たきりの人がいるから、行つてほしい』との声が上がりました。当時は医者と看護師、保健師、運転手の4人体制で村中を車で移動して、診察していました」。当時は家族が家で高齢者の介護をすることが多かったということもあり、30人以上の患者の家々を訪問していたと言います。

患者の人生と家族に寄りそう

訪問診療では、血圧などのバイタルチェックを行うことはもちろんのこと、患者さん本人や家族の



訪問診療に向かう荒川光昭医師

声にいていねいに耳を傾けます。「話しをする中で、本人や家族が何を困っているかを聞いて、保健師や福祉の担当者につなぐことも大切なこと」と荒川医師は話します。荒川医師は訪問診療に力を注ぎ、医療と保健、介護の連携を図ってきました。

週に1回、医師と看護師、保健師、ケアマネジャーが集まり、患者の支援についてのケース会議を行っています。この密な連携が大蔵村ならではの医療・保健・介護の体制の土台になっています。

訪問診療への想いを荒川医師はこう話します。「住みたいところに住んで、治療を受けて、できたら看取りまで……。最後の最後まで寄りそう診療。その人の人生と家族を支えたい。そういう想いで、訪問診療を続けています」。

この場所で、
これからも。

「やっぱ、家がいい」

診療所の訪問診療を利用する、佐藤美江さん（清水一）。佐藤さんは6年前から自宅で訪問診療を受けています。

「病院から退院するとき、母は『家がいい。家に帰りたい』と。本人の希望が一番だと考え、できる限りやってみようと思った」と話すのは、娘の初美さん。訪問ヘルパーを利用しながら介護を続けています。村外の専門医にかかるため、介護タクシーを利用することもありますが、「介護タクシーは料金が高いですし、移動時の身体への負担も大きい。診療所の訪問診療は、とても助かっている」と話します。佐藤さんのもとには2週間に一度、診療所の医師が診

「娘にありがとう」

「娘と一緒にいるのが、一番いい。誰よりもいい。娘に一番ありがとって気持ちだ」と佐藤さんは目を潤ませます。初美さんは「訪問診療があり、ヘルパーが利用でき、隣近所の方も気にかけてくれて、助かっています」と話します。

医療と保健、介護、そして地域が手を取り合ってきたからこそ、年を重ねても、住み慣れた場所での生活を実現させることができます。これからの村であり、老後を迎えられる村でありたい。その人らしい人生が送れるように――。



Freevolleyball



スポーツの秋を楽しむ「おおくらスポレク祭」が10/3(日)・10(日)の2日間の日程で開催されました。気持ちの良い秋晴れの中、グラウンドゴルフ、フリーバレー、ウォーキング、モルックに総勢100名以上が参加しました。

年に1度のスポーツの祭典!



1_くじ棒でチーム分け 2_ホールインワンを目指して! 3_南山交流センターで開催されたグラウンドゴルフ。笑顔が飛び出る 4_真剣に一投! 5_小学生も参戦。じゃんけんで順番決め 6_青空のもとでのモルック 7_秋晴れに「ピース」 8_夏山塚から見える雄大な最上川と月山の風景を見ながらひと休み 9_ウォーキングで5kmを歩く 10_キレのあるスパイクが連続だったフリーバレー 11_「ナイスプレー」にチームメイトと喜びを分かち合う 12_勝利をかって挑んだゲーム

Groundgolf



Molkky



Walking



▲ 年金支給日に合わせて詐欺被害防止を呼びかけました。

村防犯協会と村が合同で実施 振り込め詐欺被害防止を呼びかけ

10/15(金)、村内3か所の金融機関やATMの前で、村防犯協会と村危機管理室が振り込め詐欺被害防止の啓発活動を行いました。この日は2か月に一度の年金支給日で、金融機関を利用する方が多いことから、金融機関を訪れた方々にチラシと箱ティッシュなどを手渡し、「振り込め詐欺やオレオレ詐欺が増えています。電話でのお金のは、詐欺の可能性があるので、注意しましょう」と呼びかけました。



▲ きのご汁300杯以上が提供されました。

きのご汁や新米のおにぎりなど秋の味覚がずらり！ 肘折温泉で「秋の味覚市」を開催

10/16(土)、肘折温泉街で秋の味覚市が開催されました。ナメコやエノキ、シメジ、肘折の豆腐などの具材に鶏ガラの出汁、酒かすが入った肘折特製のきのご汁を求めて次々とお客さんが訪れ、新米のおにぎりや総菜とともに購入していました。東根市から訪れたご夫婦は「ラジオでこの味覚市を知りました。山の味を感じるナメコがおいしい！来て食べた甲斐がありました」と話してくれました。



▲ 豊牧りんどうクラブでの個人戦。応援団も駆けつけました。

村公式ワナゲ交流大会を2年ぶりに開催 緊張の一投！今年は個人戦で対戦

10/6(水)から10/19(火)まで、第5回大蔵村公式ワナゲ交流大会が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染防止のため、それぞれの地区で開催され、総勢103名の参加者が3ゲームを行い、最高得点を競い合いました。大会当日はみなさん緊張した様子で真剣に輪を投じていました。今年の個人戦の優勝は石黒美枝子さん(清水二)、準優勝は大竹義子さん(白須賀)、3位は信田清子さん(合海)でした。おめでとうございます。



▲ コキアや折り紙などを載せ、思い思いのハガキをつくりました。

幸齢者大学 長寿の森 紙すきハガキづくりを体験

10/19(火)、幸齢者大学「長寿の森」で牛乳の紙パックを使った紙すきハガキづくりが行われました。参加した19名のみなさんは紙パックを水に溶かしたものを網のついた型枠ですくいながら形を整え、アイロンで水気を切ってオリジナルのハガキを完成させました。矢口秀男さん(熊高)は「紙を平らにするのにコツが必要でした。初めての経験だったけど、おもしろかった」と感想を話してくれました。



1_高校生が撮影したYouTube動画「四ヶ村の棚田米」 2_映像クリエイターの須藤さんにカメラの操作方法を教わる高校生 3_インタビューの様子 4_小型ドローンを操作する高校生

新庄・もがみジモト大学—大蔵村講座— 高校生が「四ヶ村の棚田」を撮影

9/22(水)、ジモト大学の大蔵村講座「YouTube(YouTube)動画を本格的な機材で制作！」が開催されました。ジモト大学は高校生に進学や就職をする前に地域のことを学んでほしいと各市町村と企業で取り組んでいる事業です。大蔵村では四ヶ村の棚田の魅力と動画制作を学ぶプログラムで、大蔵村の2名の高校生が本格的な機材を使った動画撮影にチャレンジしました。高校生は映像クリエイターの須藤和彦さん(肘折)に教えてもらいながら、デジタル一眼レフカメラやドローンなどの機材を使って棚田の風景やインタビュー映像を撮影しました。棚田米のブランド化に取り組む四ヶ村棚田米生産販売組合の須藤敏彦さん(平林)に棚田での米づくりの苦労や棚田米の販売方法などをインタビューしました。高校生は「動画撮影の仕方や棚田を耕作する方の想いを知ることができた。自分たちが棚田のために何ができるのか考えたい」と感想を話してくれました。

収録した映像は村公式YouTubeチャンネルで公開しています。動画は左上のQRコードのほか、村ホームページからもご覧いただけます。

元気いっぱい笑顔いっぱい！ 肘折保育所と大蔵村保育所の運動会

10/1(金)に肘折保育所、10/2(土)に大蔵村保育所の運動会が開催されました。子どもたちはかけっこや遊戯、リレーなどの競技に全力プレーで挑みました。競技の勝ち負けに飛び跳ねて喜んだり、悔しさに涙を流したりしましたが、金メダルが全員に贈られ、にっこり笑顔で運動会を締めくくりました。

肘折保育所▶ 1_親子競技 2_笑顔で応援 3_年長児リレー 大蔵村保育所▶ 4_力を合わせてデカパンリレー 5_応援エール 6_金メダルににっこり 7_体全体を使って遊戯 8_仲良くゴール 9_勝った～！



東北電力ネットワークとユアテックがLED街路灯を村へ寄贈



10月18日(月)、東北電力ネットワーク株式会社新庄電力センターと株式会社ユアテック新庄営業所より村へLED街路灯(取付工事含む)を寄贈いただきました。街路灯は要望のあった藤田沢地区に設置される予定です。両社より昭和43年からこれまで249基もの街路灯を寄贈いただいており、村では交通事故防止や防犯面などでの住民の安全安心に役立ててきました。今回が最後の寄贈となりました。長きにわたりありがとうございました。

村身体障害者福祉協会へ新庄青年会議所が防災ブレスレットを贈る



10月13日(水)、新庄青年会議所から村身体障害者福祉協会(國分俊子会長・比良稲沢)へ防災ブレスレットが贈られました。このブレスレットはホイッスルや方位磁石などの機能がついており、同会議所で開催した心のバリアフリーを進めるワークショップで作成されたものです。國分会長は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます」と話してくれました。

烏川農事組合法人が特別養護老人ホーム翠明荘へ新米120kgを贈る



10月14日(木)、烏川農事組合法人(斉藤辰栄代表・烏川)が特別養護老人ホーム翠明荘に新米のつや姫120kgを寄贈しました。斉藤代表は「地域の先輩方が農地を繋いでくれたおかげで、こうして法人として稲作をすることができています。私たちの先輩である利用者みなさんに新米を味わっていただきたい」と寄贈の理由を伝えていました。

縄文の女神ペーパークラフトデザインコンテスト入賞作品が決定



優秀賞 早坂心結さん(大坪) 町村賞 伊藤学玖さん(清水三) 町村賞 柿崎充希さん(肘折) 町村賞 八鍬友音さん(赤松) 縄文賞 佐藤月華さん(清水一)

大蔵村と最上町、舟形町の3町村で開催した第2回縄文の女神ペーパークラフトデザインコンテストの審査会が10月15日(金)に行われ、206点の応募作品の中から大蔵村の7作品が入賞作品に選ばれました。入賞作品は中央公民館で開催されている村芸術作品展で11月22日(月)から30日(火)まで展示されます。力作の数々をぜひご鑑賞ください。



おおくら升玉水力発電所で竣工式を開催

9月28日(火)、おおくら升玉水力発電所で施設の完成を祝う竣工式が開催されました。関係者や来賓など約60名が式に出席し、安全を祈願する神事と施設説明が行われ、その後の運転開始式では発電の起動ボタンが押されました。おおくら升玉水力発電株式会社の代表取締役である加藤村長は式上で「水力発電は二酸化炭素の排出がないクリーンな発電方法です。この水力発電で地域の活性化と学習観光を促進していきたい」とあいさつしました。

▶おおくら升玉水力発電株式会社

銅山川の豊富な水量を活用した水力発電を行うため、大蔵村と株式会社工営エナジー、もがみ自然エネルギー株式会社の3者が共同出資し、「お

おくら升玉水力発電株式会社」を設立しました。平成30年6月から工事を進め、今年6月30日にすべての工事が完了しました。7月12日から発電を開始し、固定価格買取(FIT)制度により売電しています。

▶二酸化炭素の排出がないクリーンな発電

おおくら升玉水力発電所は既設の舁玉砂防堰堤を活用しています。設置された取水口から銅山川の水を取り込み、落差で生まれる位置エネルギーで水車を回して発電しています。水力発電は二酸化炭素の排出がない、環境にやさしい発電方法です。発電所の1時間あたりの最大出力は494kwで、発電開始からすでに105万kw(10月29日現在)を発電し、電気事業者へ売電しています。



令和4年度各保育所への 新規入所児童を募集しています

村内の各保育所への令和4年度の入所児童を募集しています。

▶対象児童

保護者等が就労などのため、保育所での保育を必要とする生後8か月から就学前の子ども

▶各保育所の募集定員(年齢は令和4年3月31日現在)

① 大蔵村保育所

0歳児(8か月以上)～3歳児以上 120名

※0歳児は5名まで

② 肘折保育所

2歳児以上 20名

③ 沼の台保育所

3歳児以上 30名

▶申込方法

必要書類などの詳細は村ホームページでご確認ください。書類は健康福祉課福祉係で受け取ることもできます。

▶申込締切

令和3年11月24日(水) 必着

※新規入所を希望する方へのご案内となります。年度途中に保育所への入所を希望される方も申し込みください。

☎健康福祉課 福祉係 ☎75-2104(内線275)



▲村ホームページへ

低所得の子育て世帯へ 生活支援特別給付金を支給します

低所得の子育て世帯を対象に生活支援特別給付金を支給します。

▶支給要件

次の養育要件と所得要件の両方を満たす18歳未満の児童を養育する方

① 養育要件

- ・令和3年4月分の児童手当・特別児童扶養手当を受給している方
- ・新規児童手当・特別児童扶養手当を受給している方
- ・平成15年4月2日から平成18年4月1日の間に生まれた児童を養育している方

② 所得要件

- ・令和3年度の村民税均等割が非課税の方
- ・令和3年1月以降に家計が急変し、現在、村民税均等割が非課税となる水準の収入以下まで減少した方

▶支給額 18歳未満の児童一人につき5万円

▶申請について

要件により、申請の有無が異なりますので、村ホームページまたは健康福祉課福祉係でご確認ください。

▶申請締切 令和4年2月28日(月) 必着

☎健康福祉課 福祉係 ☎75-2104(内線275)



▲村ホームページへ



社会保険料(国民年金保険料) 控除証明書をお送りします

▶年末調整・確定申告まで保管ください

国民年金保険料は社会保険料控除の対象となります。今年1月1日から12月31日までに納付した分が対象となります。この社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告の際に、納付したことを証明する書類を添付しなければなりません。

▶控除証明書は日本年金機構から送付されます

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」は日本年金機構より2回に分けて送付されます。年末調整や確定申告の時期まで大切に保管ください。

・令和3年1月から9月までの納付分

11月上旬に送付

・令和3年10月から12月までの納付分

令和4年2月上旬に送付

▶ご家族の国民年金保険料も控除対象です

本人に代わり、ご家族の国民年金保険料を納付した場合は、社会保険料控除額にご自身の社会保険料の額と合算して申告ください。この場合、ご家族あてに送付された「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」も申告する方の申請書に添付ください。

☎住民税務課 国保年金係 ☎75-2103(内線263)

後期高齢者医療広域連合から 医療費のお知らせをお送りします

▶確定申告まで保管ください

令和2年11月から令和3年10月まで医療機関に受診した分の「医療費のお知らせ」をお送りします。このお知らせは確定申告の際に医療費控除を受けるために、添付する必要があります。令和3年11月・12月の受診分については医療機関から交付される領収書が必要です。

▶対象者 後期高齢者被保険者証をお持ちの方

▶発送予定 令和4年1月下旬

▶医療費のお知らせの内容

受診した医療機関等の診療年月・医療費の総額など

☎住民税務課 国保年金係 ☎75-2103(内線263)

11月30日「いいみらい」の日は 年金の日です

▶ねんきんネットをぜひご利用ください

ねんきんネットは日本年金機構が提供するインターネットサービスです。パソコンやスマートフォンなどで、年金記録の確認やねんきん定期便などを確認することができます。

▶お問い合わせ専用ダイヤル ☎0570-058-555

☎住民税務課 国保年金係 ☎75-2103(内線263)

診療所 深瀬龍先生の 新型コロナこらむ

第11回 6つの手洗いポーズ

ピカピカの手で感染予防。「6つポーズ」で家族みんなが手洗い名人に！



6つの手洗いポーズ



おねがい



カメ



お山



オオカミ



バイク



つかまえた

新型コロナウイルスの感染予防には手洗いが重要であることはみなさんご存じだと思います。では、洗い残しがないように手洗いができているでしょうか？洗い残しが特に多い部分は、指の間・指先・親指・手首です。

洗い残しがないように、保育所や小中学校では6つの手洗いポーズを推奨しています。6つの手洗いポーズは「おねがい」「カメ」「お山」「オオカミ」「バイク」「つかまえた」です。これらのポーズで洗うことで、洗い残しの多い部分を念入りに洗うことができます。

ご自身の手洗いを見直してみたり、お子さんと一緒に手洗いをしてみたり、家庭での手洗いにお役立てください。家族みんなが手洗い名人を目指しましょう。

シリーズ 最上南部3町村縄文文化発信推進会議

08 繫げよう 縄文の輪



縄文の女神の日

大蔵村のお隣、舟形町では平成4年8月4日に西ノ前遺跡から縄文の女神が出土したことから、毎年8月4日を「舟形町縄文の女神の日」と町の条例で定めています。この日に合わせ、舟形町では毎年8月上旬に「縄文の女神まつり」を開催し、縄文時代の暮らしや文化を学ぶイベントなどを開催しています。



縄文の女神 |



西ノ前遺跡公園「女神の郷」

西ノ前遺跡からは縄文の女神のほかに、土偶どぐ残欠ざんけつ(土偶の一部分)が47点も出土し、国宝の附つけたり(一部分)として指定されています。西ノ前遺跡は平成14年に舟形町の指定文化財となり、現在は西ノ前遺跡公園「女神の郷」として親しまれています。公園内には5倍の大きさの縄文の女神像や調査概要



西ノ前遺跡公園「女神の郷」

がわかる看板があり、観光地や地域の憩いの場として利用されています。

山形県最低賃金が
改正されました

山形県の最低賃金が時間額822円に改正されました。効力発生日は令和3年10月2日です。この最低賃金は県内で働くすべての労働者に適用されます。

☎県労働局賃金室 ☎023-624-8224

頑張る時折！応援キャンペーン
ひじおり得旅

▶とき

令和4年3月10日(木)までの期間で、金・土曜日及び休祝日の前日は除く

▶対象 山形県民2,000名

▶キャンペーン内容

清算時の金額が一人8,000円以上の場合、宿泊料金から5,000円を割引きます。買い物・食事券を1,000円分お渡しします。

☎肘折温泉郷振興株式会社
(肘折いでゆ館) ☎34-6106

新型コロナウイルス感染症
対策離職者応援金

▶支給対象者

令和3年4月以降に新型コロナウイルス感染症に起因して県内事業所を解雇・雇止めされた県内の労働者

▶応援金 一人5万円(1回のみ)

▶申請期間 いずれも消印有効

- ① 4月～9月の間に解雇・雇止めされた方は11月1日(月)～12月13日(月)まで申請ください。
- ② 10月～12月の間に解雇・雇止めされた方は令和4年1月12日

(水)～2月9日(水)まで申請ください。

▶申請方法

支給申請書に雇用保険受給資格者証の写しと離職票2の写し、退職証明書等の原本をつけて郵送にて申請ください。

☎県産業労働部雇用・コロナ失業対策課 ☎023-630-2377

やまがたの森づくり発表会を
開催します

やまがた緑環境税を活用した森づくり団体の活動発表、「やまがた木育」体験や講演などが行われます。

▶とき 11/23(火)11:30～16:30

▶場所 山形ビッグウイング

▶対象

森づくり活動に興味のある方、補助事業による活動を検討している方※申込は不要です。直接会場までお越しください。

☎県みどり自然課 ☎023-630-2432

11月12日～11月25日
女性に対する暴力をなくす運動

今年のテーマは「性暴力を、なくそう」。望まない性的な行為は性暴力です。迷わずご相談を。

▶電話相談 #8891または#8103

▶SNSでの相談

右のQRコードから

☎役場総務課政策推進係

☎75-2111(内線214)

地域議員協議会を
開催します

県議会ではそれぞれの地域の課題等について、地元議員が審議を

行う地域議員協議会を各総合支庁で開催します。県議会の活動を身近で傍聴できる機会ですので、ぜひお越しください。

▶とき 11/19(金)15:00～

▶場所 最上総合支庁講堂

☎県議会事務局議事調査課 ☎023-630-2841

指名手配被疑者の
検挙にご協力ください

警察では特に重大な犯罪の被疑者を選定し、11月に全国警察の総力を挙げて追跡捜査を行い、被疑者の早期検挙に取り組んでいます。指名手配被疑者によく似た人を見かけたといった情報など、わずかなことでも結構ですので、警察への通報をお願いします。

☎新庄警察署 ☎22-0110

自衛官候補生を
募集しています

▶募集資格 18歳以上33歳未満

▶試験日 11/27(土)

▶受付締切 11/19(金)

☎自衛隊新庄地域事務所 ☎22-5057

新庄市夜間休日診療所の
ご案内

▶新庄市保健センター内に開設

☎29-6300

▶診療科目 内科・小児科

▶夜間受付(月～土)

18:30～21:00

▶休日受付(日・祝日・12/31～1/3)
8:30～11:30／13:00～16:30

☎新庄市健康課健康推進室 ☎22-2111

編集
後記

今月の特集のテーマは2年前から追いかけてきたものです。第1回のピンピンピックの取材は今でも鮮明に覚えているほど、参加者のみなさんが元気過ぎて、おじいちゃん、おばあちゃんと呼びしてよいのか…と迷ってしまうほどでした。自分自身がおばあちゃん子だったので、取材を重ねるご

とに多くの記憶がよみがえってきました。おばあちゃんも訪問診療を利用していた時期があり、元氣なときの思い出はもちろん、晩年におばあちゃんと一緒に過ごした時間は、今になっても大切な思い出です。みなさん、これからも元氣でいてください！地区ごとの開催となる今年度のピンピンピックへも取材におじゃまします！！

大蔵村環境衛生通信 vol.81

11月は大蔵村ごみ資源化強化月間

▶資源化へのご協力ありがとうございます

缶やビン、ペットボトルなどの資源ごみは、リサイクルプラザもがみに搬入された後、資源ごとに分類され、資源回収業者に売り払われます。令和2年度の売り払い収入は224,000円となりました。

また、役場前の資源ステーションで回収している紙資源類は、令和2年度で約46トンが回収され、売り払い収入は130,209円となりました。資源の回収にご協力いただきありがとうございます。

▶資源ごみを出す際のポイント

- ・缶 飲み物の空き缶はもちろんのこと、スプレー缶や海苔の缶も資源です。スプレー缶は必ず中身を使い切ってから出しましょう。穴を開ける必要はありません。
- ・ビン 中身を軽くすすぎ、「茶色・無色・その他の色」の3種類に分別しましょう。はがしにくいラベルは無理にはがす必要はありません。
- ・ペットボトル 中身を軽くすすぎ、ラベルとキャップをはずして出しましょう。
- ・紙資源 段ボール、本、新聞・広告、包装紙等の雑紙の種類ごとにわけ、白い紙ひもでしばります。

☎健康福祉課 健康衛生係 ☎75-2104 (内線272)



リサイクルでの収入
224,000円



リサイクルでの収入
130,209円

読んであげたい今月の1冊に

📖 今月の1冊 📖 絵本とお話の会 フレデリック

「ゆうびんやさん
おねがいね」

文 サンドラ・ホーニング
絵 バレリー・ゴルバチョフ



(徳間書店)

もうすぐ、コブタくんのおばあちゃんのお誕生日。コブタくんは遠くに住んでいるおばあちゃんにとっておきのプレゼントを贈るため、郵便局へでかけました。とっておきのプレゼントを届ける郵便リレーのスタートです。コブタくんからのとっておきのプレゼントをおばあちゃんに届けることができるでしょうか。やさしい気持ちが心いっぱいになるお話です。

- 中央公民館でかりることができます
- 読み聞かせ時間 6分

戸籍の窓

9月16日～
10月15日届出分

お悔やみ申し上げます

地 区	お名前(年齢)	世帯主
上竹野	林 スミ(97)	信治
清水三	海藤千代子(75)	敏昭
白須賀	早坂富久男(81)	吉富
清水一	庄司 福弘(84)	福弘
塩	柿崎ハツ子(89)	光昭
清水二	田部井繁俊(84)	英俊

※届出の際に、掲載希望の確認を行っています。担当窓口にお申し出ください。

人のうごき

令和3年9月末現在
()は昨年同期

世帯数	1,041戸	(1,053戸)
人 口	3,045人	(3,123人)
男	1,521人	(1,554人)
女	1,524人	(1,569人)
出 生	男 0人	女 0人 計 0人
死 亡	男 5人	女 4人 計 9人
転 入	男 2人	女 1人 計 3人
転 出	男 2人	女 5人 計 7人

11月の予定

- 3日(水) モンテディオ山形大蔵村応援デー
- 6日(土) 最上川さくら回廊植樹式
- 6日(土) 肘折ダムライトアップ
- 8日(月) 村芸術作品展(11月30日まで)
- 8日(月) 献血
- 9日(火) 児童生徒教育講演会
- 12日(金) 村道除雪出動式
- 16日(火) 行政相談
- 18日(木) ヘルシーティース
- 26日(金) 大蔵村保育所発表会

村税の納期限

- ☎ 税 目 固定資産税 第4期
 - 国民健康保険税 第5期
 - ☎ 納期限 11月30日(火)
- 納期限まで忘れずに納税しましょう。
口座振替の方は残高の確認をお願いします。

COVER

——表紙の写真——

ひいおじいちゃんとひいおばあちゃんが大好きな女の子。一緒にお店でアイスを買ったり、おままごとをしたり…にこにこ笑顔の楽しい時間です。

「さあ今日は何して遊ぼうか？」

撮 影 日：10月27日

撮影場所：通り地区



ORAENOMENGO

今月のおおくらっ子

村内の子どもたちを紹介しています。親戚やお友達、ご近所のお子さんの掲載もお楽しみに！



お名前 ^{さや}大嶋 紗矢ちゃん（詠太郎）
地 区 合海
好きなもの ぶどう・プリキュア



お名前 ^{れんと}中島 蓮翔くん（康兵）
地 区 合海
好きなもの ぶどう・きかんしゃトーマス



子どもたちと一緒に
歯科検診とフッ素塗布の
ヘルシーティースに
来たよ！

⑤1 ヘルシーティース

今月の「みつどご」
おもしえどご！

おおくらくんがみつけた
むらのみつどご
おもしえどご！



先生！
ぼくの歯はどうですか？

おおくらくんの歯は
雪のように
真っ白だね！



みんなもヘルシーティース
受けに来たんだね！
これからもぼくと一緒に
歯みがきがんばろうね！



次はフッ素だね～
みんな泣かないでがんばってたから、
ぼくも大きな口を開けるよ！